

まようたんて

vol.109



主な内容

丹後町 経ヶ岬分屯基地 Xバンド・レーダーの配備候補地に

市政トピックス

・市営バス2路線を延伸

・「山陰縦貫・超高速鉄道」実現へ市町村会議

フォトトピックス

京丹後市成人式

ほか

2013
平成25年

4月号

3月25日発行

撮影場所:京都市丹後文化会館(峰山町杉谷)



Xバンド・レーダーの追加配備計画について住民に説明する防衛省幹部ら（3月11日、宇川小体育館で）



防衛省幹部らによるXバンド・レーダーの追加配備計画に関する住民説明会（3月12日、丹後地域公民館で）



市議会議員全員協議会でXバンド・レーダーの追加配備計画について説明する佐藤正久政務官（中央、3月13日、議場で）

この防衛省の意向を受け、これに対して中山市長は「まず住民の皆さんの安全安心の確保が第一であり、健康への影響やリスクなどの懸念を払拭するためにも、住民への十分な説明をお願いしたい」との要請をしました。

◆

◆

要になりますか。

基地周辺の数ヘクタール

8人が京丹後市役所を訪れ、青森県つがる市の航空自衛隊車力分屯基地に次いで日本で2基目となる、米軍が開発した移動式早期警戒レーダー「Xバンド・レーダー」の配備先として、航空自衛隊経ヶ岬分屯基地を最優先候補地として検討・調整をしたい旨の申し入れがありました。

これに対して中山市長は「まず住民の皆さんの安全安心の確保が第一であり、健康への影響やリスクなどの懸念を払拭するためにも、住民への十分な説明をお願いしたい」との要請をしました。

◆

◆

要になりますか。

基地周辺の数ヘクタール



Xバンド・レーダー追加配備に関する京丹後市長との面談（2月26日、市役所峰山庁舎）

2月26日、防衛省幹部来庁

2月22日（日本時間23日未明）に行われた日米首脳会談で、北朝鮮などの最近

中山市長「住民の安全安心の確保が大前提」

2月末に防衛省から、「丹後町袖志にある航空自衛隊経ヶ岬分屯基地をXバンド・レーダーの追加配備の候補地にしたい」との申し入れが市に対してありました。これを受けて市では、地域住民や市議会議員を対象とした説明会を開催するなどして、防衛省の担当者から具体的な説明を求めてきました。この間に開かれた住民説明会などの概要をお知らせします。

Xバンド・レーダーの配備候補地に

のミサイル開発状況に鑑み、日米において弾道ミサイルの防衛体制を強化すること

の合意がなされました。2月26日には、防衛省の金澤博範事務次官をはじめ幹部ら

住民説明会などでの質問に対する防衛省の回答を、抜すいしてお知らせします。

の用地の取得（買収・賃貸借）が必要となります。米軍基地に必要となる土地は、防衛省で土地所有者と契約して使用権原を得て米軍に提供する形となります。

入禁止区域を設定することなども考えています。

また、地上波テレビやラジオ、携帯電話などへの電波障害などはありません。安全に万全を期すため、レーダー前面の上空に飛行制限区域を設定します。

目次	
index	
経ヶ岬分屯基地 Xバンド・レーダーの配備候補地に	P2
市政トピックス 市営バス2路線を延伸／「山陰縦貫・超高速鉄道」実現へ市町村会議 ほか	P4
フォトトピックス 京丹後市成人式	P8
まちのわだい 被災支援の活動にお礼の手紙／「白砂青松守ろう」と松苗を植樹 ほか	P10
京都府のひろば きょうと農商工連携応援ファンド支援事業	P12
—The Healthy Life— 地域医療の現場から ロコモを予防して健康的な生活を	P13
消防の広場 統計で見る京丹後の実態	P14
みんなの広場	P16
京たんごスポーツ	P18
生命の絆	P19
情報ファイル 市の文化財／ジोटピックス／市長エッセイ「和気泰来」／宮川優のたんご優遊見聞録／図書館だより／広報クイズ ほか	P20
京丹後人 ③⑥ 京丹後の野球界を牽引する 稲葉 悦男 さん	P24
“きもの”のある風景 3月17日に京丹後市成人式が催され、あでやかな着物やおしゃれなスーツに身を包んだ676人が新たな門出を迎えました。 新成人たちが旧友との久しぶりの再会を楽しんでいるところをお邪魔して、記念に1枚（＝表紙写真）。式典では、児童合唱団と一緒に「翼をください」を熱唱する姿が見られました（＝写真）。会場は終始華やかな雰囲気にもまれていました。（8頁に関連記事）	

Xバンド・レーダーの概要（防衛省広報資料から）

米軍が開発した弾道ミサイルの探知・追尾を目的としたレーダーで、ペトリオット・システムのように迎撃ミサイルを有するものではなく、ミサイルが飛来する可能性が高い空域を監視し、飛来するミサイルを精密に探知、追尾する能力に優れたレーダーです。



Xバンド・レーダーの外観（アンテナユニット）

公共交通

「京丹後市営バス運行事業に関する条例」を改正

利便性向上へ市営バス2路線を延伸

市は、3月定例会市議会において、市営バス路線の延伸などによる利用者の利便性の向上を図るため、「京丹後市営バス運行事業に関する条例」を改正しました。4月1日から施行します。

久美浜町
「川上線」「佐濃北線」

留所の新設や路線延伸を行うもの。

今回の改正は、久美浜町内を運行する「川上線」と「佐濃北線」の2路線で、停



利用者の利便性向上を図るため路線延伸などをした市営バス「川上線」(写真上)と「佐濃北線」

行政

4月1日から商工観光部の組織を見直し

スポーツ観光・交流課を新設

市は、スポーツ誘致による産業の振興や地域の活性化を推進する担当部署を新設するなどの市役所組織の見直しを行いました。4月1日から実施します。

今回の見直しは、商工観光部において▽「商工振興課」と「産業雇用総合振興課」を統合して「商工振興課」を改編する▽「観光振興課」を分割し「スポーツ観光・交流課」を新設する一ものです。従来の「商工振興課」「産

するとともに、運行経路を一部変更。佐濃地区にあるスーパーマーケット前に「佐野内停留所」を新設して、住民が買い物などをする際の利便性を高めました。

さらに、それぞれの運行経路に当たる「高龍中学校前」のバス停名称を「旧高龍中学校前」に変更。2路線の延伸、経路の変更に伴い、それぞれ運賃を一部変更

します。

市と丹後海陸交通が共同運行する路線バスについては、弥栄網野砂丘線(弥栄町―久美浜町)で温泉利用客のニーズに応えるため「浅茂川温泉静の里停留所」が新設され、3月16日から新ダイヤで運行を行っています。

企画政策課
☎69・0120

するための支援を行う担当を配置。市のホームページ上に意見や要望、解決策などの意見交換の場を設け、まちの活性化につながる動きとなるような仕組みづくりに取り組みます。

見直し前 (～H25.3.31)		見直し後 (H25.4.1～)
商工振興課	→	商工振興課
産業雇用総合振興課	→	観光振興課
観光振興課	→	スポーツ観光・交流課

企画政策課
☎69・0120

公共交通

鳥取・松江・京丹後市の3市長が発起人会

「山陰縦貫・超高速鉄道」実現へ市町村会議

山陰と京阪神、北陸までを結ぶ超高速鉄道の整備を目指す「山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議(仮称)」の設立に向けた発起人会が2月19日、鳥取県鳥取市役所で開かれました。鳥取市の竹内功市長、島根県松江市の松浦正敬市長、京丹後市の中山泰市長が、6月をめどに市町村会議を発足させ、山陰地方が一体となって建設を国に求めていく方針で合意しました。

フラを整備する上でも国家戦略上の意義は高い」と必要性

を強調。竹内市長は「地域に新たな夢を運んでくるもの

だ」、また松浦市長は「山陰12市(島根県8市、鳥取県4市)はかねてからの思いもあり賛成する」と述べ、会議の設立に同意しました。

構想ルートは、▽下関(山口県)から山陰側を通り豊岡、福知山を経て大阪または京都に至る▽福知山から舞鶴、小浜(福井県)を経て北陸新幹線に接続する一の2案を提案。整備方式は、既に構想が持ち上がっている山陰新幹線と技術革新が進むリニア鉄道

の両方で検討を進め、整備費用は全額国が負担するよう要望することなどが確認されました。

今後、市町村会議の設立に向けて鳥取、島根両県をはじめ山口県や福井県など沿線7府県の市町村に参加を働き掛けることとし、超高速鉄道の実現に向けた国への要請や費用対効果などの調査活動を展開していくこととされました。

企画政策課
☎69・0120

財政

一般会計補正予算(第6号)が成立

国の緊急経済対策関連など4億433万円増額

4億4313万円を追加し、予算総額331億1109万円とする平成24年度一般会計補正予算(第6号)が、3月定例会市議会で可決、成立しました。国の緊急経済対策を受けた13事業などを盛り込んでいます。

「京丹後農業経営実践型学舎」推進事業

▼1億3847万円
丹後国営開発農地を実践農場として、大規模畑作の生産技術から販売戦略まで

の経営力を実践習得する「京丹後農業経営実践型学舎」を創設し、府との共同で大規模農業経営者の育成に取り組みます。和田野保育所旧施設を宿舍に改修する費用



和田野保育所旧施設を活用して「京丹後農業経営実践型学舎」を創設

1億2150万円、土づくり用農業機械購入費892万円などを計上しました。

小学校再配置施設整備事業
▼1億3194万円
弥栄町の鳥取小、溝谷小、黒部小、野間小の4校が平成26年4月に再配置されることを受け、拠点校となる鳥取小を整備。特別教室棟増築(図書室、情報教室)、屋外フェンス改修、プール槽改修などを実施します。

花いっぱい運動推進経費
▼57万円
市民との協働による「花いっぱい運動」を進めるため、河川沿いの堤防などへの植樹・植栽イメージを作成します。



(写真上) 耐震化が施された体育館で元氣いっぱい遊ぶ吉野小学校の児童。(写真下) 改築した神野小学校体育館



平成24年度 保育所・学校施設の耐震化等工事

施設名	対象施設	工事完了日	工事費(千円)
島津保育所	全体棟	H 24.9.18	30,702
大宮第二小学校	管理棟・普通教室棟	H24.11.28	97,873
大宮第三小学校	体育館	H24.12.19	59,656
吉野小学校	体育館	H24.11.8	28,184
田村小学校	体育館	H24.10.24	69,927
神野小学校	体育館(改築)	H25.3.22	467,334
間人中学校	教室棟	H24.12.18	104,680

※工事費には、大規模改修や校舎増改築を含む。

市は、平成24年度の保育所・学校施設の耐震化事業で、1保育所と5小学校、1中学校の7施設について、耐震補強工事を行いました。

学校施設では、「京丹後市立学校施設耐震化計画」に基づき、大宮第二小学校(大宮町)と間人中学校(丹後町)の管理棟や教室棟の耐震補強工事を実施。大宮第三小学校(大宮町)と吉野小学校(弥栄町)、田村小学校

(久美浜町)は、体育館の耐震改修を行いました。また、今年4月の学校再配置(新校名「かぶと山小学校」)で拠点校となる神野小学校(久美浜町)は、児童数の増加に対応するための校舎改修と併せて体育館を改築しました。

保育所施設では、「京丹後市保育所再編等推進計画」に基づき、島津保育所(網野町)施設の耐震化を図り

ました。

平成25年度は、丹波小学校(峰山町)と黒部小学校(弥栄町)で体育館の耐震補強工事を予定。さらに峰山中学校(峰山町)、峰山小学校(同)、吉原小学校(同)、丹波小学校、橘小学校(網野町)、間人小学校(丹後町)の教室棟などの耐震補強工事(平成26年度実施予定)に向けた実施設計を行う予定としています。

保育・教育

平成24年度 学校施設などの耐震化状況

保育所・学校7施設で耐震補強実施

医療現場の体験を通じて、未来の医師・看護師を育てる取り組み。平成24年8月に実施の弥栄病院「ふれあい看護体験」(写真上)と久美浜病院「キッズドクター」(写真下)の様子。



医療

京丹後市立病院改革プラン評価委が中山市長に報告書

市立2病院の経営改善の取り組み評価

改革プラン23年度 実施状況を点検

「京丹後市立病院改革プラン評価委員会」(浅田武夫委員長、6人)から、2月20日、改革プランの平成23年度の実施状況に関する点検・評価報告書が中山市長に提出されました。弥栄と久美浜両病院の経営改善の取り組みを評価する一方で、医師などのスタッフが働きやすい環境整備を求めています。

市が、両病院の4年間の経営目標などを定めた改革プランを平成21年に策定し、事業経営改善の取り組みを

推進。評価委員会を設置して、毎年度その進捗よく状況を検証しています。

同委員会は、経費の抑制

や収益の増加に努めたことなどにより、単年度資金収支が両病院ともに4年連続の黒字となった点を評価。さらに、両病院が改革プラン策定後、最も多い医療収益を上げたことについて、「目標達成に向けた組織全体の士気の高さがうかがえる」としています。

一方で、両病院とも医師体制の充実、強化が必要と指摘。さらに、施設の老朽化を課題に挙げ、「不足する医師の負担軽減や組織力の向上、質の高い医療の提供のためにも、さらに働きやすい環境整備が大切」としています。

一方、両病院とも医師体制の充実、強化が必要と指摘。さらに、施設の老朽化を課題に挙げ、「不足する医師の負担軽減や組織力の向上、質の高い医療の提供のためにも、さらに働きやすい環境整備が大切」としています。

図医療政策課
☎69・0360

教育

平成25年度の再配置へ拠点校整備

久美浜中の校舎棟を増築

市は、久美浜町の久美浜中学校と高龍中学校の2校が平成25年度に再配置されることに伴い、拠点校として使用する久美浜中学校の校舎棟の増築や大規模改修を行いました。

生徒数やクラス数、教職員数の増加に対応するため、普通教室棟(鉄筋コンクリー

ト造、3階建)3室や給食調理室(鉄骨造)を増築。さらに職員室や校長室を改装したほか、屋上防水など既存校舎の老朽化部分の改修、下水道接続工事などを実施しました。

工事は今年1月24日に完了。工事費は1億9327万円です。



中庭部分に普通教室を増築し、体育館と教室棟をつなぐ渡り廊下を設置

網野南小と郷小が平成26年4月に再配置

新校名は「網野南小学校」

教育

「交流給食」では、網野南小と郷小の1・4年生が一緒に給食を味わいながら交流を深めた(今年2月18日、網野南小ランチルームで)。

市教育委員会が、▽拠点校を網野南小とする▽再配置の時期を平成26年4月とする―ことなどを実施方針に定め、平成23年2月から地域の学校関係者と話し合いを進めてきました。

平成24年9月には、両校区内の住民やPTA、学校関係者などをつくる「網野南小・郷小学校づくり準備協議会」(事務局、市教委)が設置され、この間、校名や通学支援の在り方などが協議されてきました。

再配置に向けて両校では、交流学習や交流給食など子ども同士の交流を深める取り組みが盛んに行われています。



今回の再配置は、市が児童生徒数の減少や複式学級の解消に対応し、より良い教育環境を整えることを目的に策定した「学校再配置基本計画」に基づくもの。

の決
可
案
校
立
市

「京丹後市立学校条例の一部を改正する条例」案が、3月定例市議会初日の2月27日に可決されました。網野町の網野南小学校と郷小学校の2小学校を新たに「網野南小学校」として、来年4月1日に再配置することが決まりました。

「新成人を迎える気持ち」
成人を迎え、これから先どうなるのか不安である一方、とても希望に満ち溢れていると思います。私たち新成人が、次代を担う存在として、感謝の気持ちを忘れずに、責任を持ち、人との絆を大切にして新たなスタートを踏み出したいと思っています。

これからの人生、いろいろなことがあると思いますが、嫌なことや、やりたくないことから決して逃げずに、前を向いて歩んでいくことが大切だと思います。



西住 裕高さん
(久美浜町)



糸井 彩野さん
(大宮町)

「今だから」
同級生のみんな、吹奏楽部の顧問の先生や部員たちに優しく接してもらったことで、人との関わり大切さを学びました。今さらだけど、本当にありがとう。これからも感謝の気持ちを大切にしていきたいです。

今春から、夢だった洋菓子店で勤務することになりました。早く一人前になって、できればお店も開いて、丹後を活躍させたいです。

そして、家族への孝行と、地元の方々への貢献ができるようにがんばっていきます。

“二十歳の抱負”

旧友たちと写真を撮る新成人たち



676人が新たな門出

京丹後市成人式

3月17日

「平成25年京丹後市成人式」が3月17日、府丹後文化会館（峰山町）で行われ、あでやかな着物姿や凛々しいスーツ姿の新成人が新たな門出を迎えました。

男性348人、女性328人の計676人。式には、550人が出席しました。

式典に先立ち、市内4団体の児童合唱団が、丹後吹奏楽団の演奏で杉本竜二さん作詞作曲の「Tomorrow (トゥモロー)」などを合唱。歌で祝福しました。

式典では、市長をはじめ府知事、市議会議員からお祝いの言葉が贈られました。また、新成人の恩師を代表して、起須周平教諭（当時網野中学校3年4組担任）が「人生は平たんなものではない。自分で行きたい道を選び、開拓してほしい」と激励しました。

「二十歳の主張」では、西住裕高さんと糸井彩野さんが、成人を迎えるに当たったの思いを述べました（次ページに要旨を掲載）。

新成人は、旧友や家族と笑顔で写真を撮りながら、成長の喜びを分かち合っていました。

「消防士になる！」

中島 教貴さん（大宮町）



「キレイなお姉さんになる！」

西田 歩さん（大宮町）



「芯を持った大人になる」

船戸 孝展さん（網野町）



「真面目になる」

友松 竜飛さん（網野町）



「京丹後の発展を願う」

小幡 友章さん（久美浜町）

「新たなやさしい町へ再出発の笛がなる」

辻田 陵真さん（久美浜町）



「周りの人に感謝していく」

岩崎 美貴さん（弥栄町）



「人の役に立てる大人になる！」

梅田 裕子さん（弥栄町）



「結婚する！」

中島 笑さん（峰山町）



「地元農業を活性化させる！」

田中 里恵さん（丹後町）



「調理師目指します！」

荻賀 直巳さん（丹後町）

「仲間みんな夢を掴む」

尾崎 英基さん（峰山町）



中村 泰樹さん（峰山町）

尾崎 英基さん（峰山町）

安田 淳一さん（峰山町）

故・安田 勇気さん（峰山町）

平井 昭徳さん（峰山町）

後藤 千拓さん（峰山町）

（カッパ内は出身地）

（カッパ内は出身地）

（カッパ内は出身地）

（カッパ内は出身地）

（カッパ内は出身地）

（カッパ内は出身地）

（カッパ内は出身地）

（カッパ内は出身地）

（カッパ内は出身地）

（カッパ内は出身地）

（カッパ内は出身地）

（カッパ内は出身地）

（カッパ内は出身地）

（カッパ内は出身地）

（カッパ内は出身地）

（カッパ内は出身地）

（カッパ内は出身地）

（カッパ内は出身地）



まちのわだい

★town topics★



奥大野区に春を呼ぶ「さくら草」

700個のプランターで沿道飾る

3月3日
大宮町



▲奥大野区内の沿道に並ぶさくら草

大宮町奥大野区内の沿道をさくら草で飾る「奥大の細道・花の道」が3月3日から催されています。同区村づくり委員会（田村洋委員長）が主催するもので、20年以上続く恒例の行事。毎年春先に行っているものです。

初日となった3日、地区住民たち30人によって約700のプランターが府・市道沿いなどに配置され、沿道を通る人やドライバーたちを華やかに出迎えました。

さくら草の栽培は、地区の女性グループ、「なでしこフラワーズ」が協力。毎年、花から取った種で育てているもので、冬季の間も毎週草取りや水やり、温度管理などを行ってきました。

「なでしこフラワーズ」世話役の川口匡美さんは「手塩にかけて育てた分だけ、やさしい色の花を咲かせてくれます」と話していました。また、村づくり委員会の田村委員長は「この地区にプランターが並ぶと、春が来たことを実感する。ぜひ見に来てほしい」と呼びかけていました。

「奥大の細道・花の道」は、4月末まで楽しめます。

人気の夕日スポット“屏風岩”

「棚田、海、山が夕日に映えてきれい」 2月28日

丹後町

「夕日がきれいに見える」と丹後町筆石の屏風岩が人気のスポットとなっています。

雨が降った日の翌日など、空が澄む日の夕方には、夕日の写真を撮ろうとカメラマンたちが屏風岩周辺（国道178号沿い）に並びます。前日に雨が降った2月28日、国道沿いには数人のカメラマンが夕日に向かってシャッターを切っていました。

カメラが趣味という田中邦江さん（峰山町）は「ここから見る夕日が好きで、よく撮影にきます。棚田と海と山とが夕日に映えてきれいです」と話していました。



▶屏風岩（右下）周辺から見る夕日。夏になると写真右側（東）に沈むようになります



▲買い物客でにぎわうフリーマーケットの様子

日本一短いアーケードとして知られる峰山町の御旅市場で3月2日、「御旅市場フリーマーケット（第51回）」（峰山御旅商店会主催）が開催されました。

この日は、市内の業者や個人21者が出店。会場には、旬の野菜を始め、古代米を使ったばらずしや、さざえ飯、あんこ餅、あま酒などが所狭しと並べられ、オープン前からお目当ての品を求める買い物客で行列ができていました。

また、アーケード内のカフェスペースでは、特設の足湯場や、丹後の風景や花などを「ちぎり絵」で表現した高齢者大学生の作品を展示。来場者は足湯を楽しんだり作品を鑑賞したりしながら、歓談していました。

主催者の中川芳郎会長は、「海の幸、山の幸など“オール京丹後産”であることがこの特徴。地元のみならず、観光客にも楽しんでもらえる仕掛けづくりをしたい」と話していました。同フリーマーケットは、毎月第一土曜日に開催しています。

お目当ての品を求め行列

御旅市場でフリーマーケット開催

3月2日
峰山町

被災支援の活動にお礼の手紙

宮城県石巻市立湊小から京丹後市立湊小に

3月11日
久美浜町

東日本大震災から丸2年を迎えた3月11日、湊小学校（久美浜町）で「東日本大震災を考える会」が開かれました。同校が、同名の縁で支援を続けている宮城県石巻市立湊小学校から届いたお礼の手紙とビデオメッセージが披露されました。

湊小は、昨年度から本年にかけて児童の手作りカレンダー、酊、地元産の米で作ったおかきなどを激励の手紙とともに贈り、被災児童たちを勇気づけてきました。また、PTAや地域住民も協力し、バザーなどの収益で購入した移動式黒板や遊具を贈呈。地域ぐるみで支援活動を展開してきました。

石巻市立湊小の児童たちは、各学年ごとに書いた手紙で感謝の気持ちを表現し、同小6年生24人は「今がんばっていること」をビデオメッセージで紹介。サッカーやピアノ、鼓笛隊などの習い事も積極的にこなし、「一人一人が目標を持って頑張っています」と力強く話していました。



▶石巻市立湊小6年生からのビデオメッセージを見る市立湊小の児童たち

力作500点がずらり

溝谷保育所で園児の作品展

3月1～4日
弥栄町

▲児童の力作を鑑賞する親子

溝谷保育所（弥栄町）で、「園児の作品展」が3月1日から4日まで開かれ、訪れた保護者や家族たちの目を楽しませました。

同所には、0歳児から5歳児まで103人が通所。今回の作品展が一年を通して作成した作品を一度に展示するとあって、その数は500点以上。展示場の遊戯室には、紙粘土で作ったひな人形（写真）やお面、手編みのマフラーなど園児たちの力作が華やかに飾られました。

また、同所の行事や園児の日常の様子を写真で紹介するコーナーも設置。園児の保護者、堀江真由美さん（和田野）は「子どもの作品や写真を見ることで、日々の成長が感じられてよかったです」と話していました。

「白砂青松守ろう」と松苗を植樹

名勝・琴引浜で島津小児童が保全活動 3月1日
網野町

▶15センチほどの松苗を一本一本丁寧に植樹する島津小の児童たち



国指定の天然記念物及び名勝に指定されている琴引浜で3月1日、島津小（網野町）の4～6年生60人が松苗の植樹を行いました。同校が授業の一環として実施したもので、白砂青松の保全活動に参加することを通じて自然を大切にすることを目的。白砂青松保全委員会（岡田政雄会長）が協力し、事前学習なども行ってきました。

当日、児童たちは同委員会メンバーの指導のもと、約250平方メートルの斜面に720本の松苗を植樹。坪倉里奈さん（4年）は、「海が近い私たちにとって、松林はとても身近な存在です。大事にして、守っていききたいです」と話していました。

ロコモを予防して健康的な生活を

若いうちから関心を持ちましょう



今回は、メタボと同じように予防が大切な「ロコモ」について、弥栄病院の森本医師に聞きます。



文
市立弥栄病院
整形外科医

もりもと ただのぶ
森本 忠信

健康で長生きするには“ロコモ予防”

今や京丹後市は、長寿健康都市として全国的にも有名になりましたが、健康で長生きするには、「メタボ」と「ロコモ」の予防が大切です。

メタボは、新聞、雑誌、テレビなどで知られるようになりましたが、ロコモは、まだあまりなじみがないようです。今回は、このロコモについてお話します。

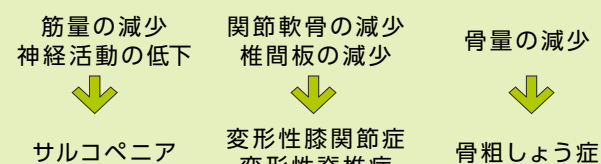
運動機能を総合的に考えて予防を

「ロコモ」とはロコモティブシンドロームの略で、骨、関節、筋肉、神経などが衰えて、「立つ」「歩く」といった動作がしづらくなり、要介護や寝たきりになる危険の高くなった状態をいいます。

ロコモの原因としては、骨量が減少する「骨粗しょう症」、軟骨が減少する「変形性関節症」、筋量が減少する「サルコペニア」などがあります。骨粗しょう症や関節症の症状は、主に痛みですが、経過が長引くと筋力が低下し、曲げる筋肉と伸ばす筋肉をバランスよく使うことができなくなること、歩行が困難になります。

人が健康に生活するには、骨量、関節、筋力のバランスが必要です。したがって、運動器の病気を一つ一つ治すだけでなく、運動機能の問題を総合的に考えて、予防や治療に取り組むことが大切です。

ロコモティブシンドローム



歩行障害

歩けない、立ち上がれない 要支援・要介護

出典：日本整形外科学会編ロコモティブシンドローム診療ガイド 2010 (文光堂、東京)

“ロコチェック”でロコモ診断

ロコモの診断には、ロコチェックを使います。下のチェック表で、7つの項目の内1つでも該当するものがあれば、ロコモの可能性あります。

ロコチェック

- ☐ 片足立ちで靴下をはけない
- ☐ 家の中でつまづいたり滑ったりする
- ☐ 横断歩道を青信号で渡りきれない
- ☐ 階段を上るのに手すりが必要である
- ☐ 15分くらい続けて歩けない
- ☐ 2%程度の買い物をしたとき、持ち帰るのが困難である(1%の牛乳パック2個程度)
- ☐ 家の中の、やや重い仕事に困難である(掃除機の使用、布団の上げ下ろしなど)

ロコトレでバランス力と筋力を

50歳を過ぎれば、7割以上の人にロコモの可能性があるとされています。健康で長生きするためには、高齢になってからではなく、若いうちからロコモに関心を持つことが重要です。

ロコモの予防、治療には、バランス力や筋力を鍛えるための運動“ロコトレ”が役立ちます。

ロコトレ

開眼片足立ち

転倒しないように、必ずつかまるものがある場所で行います。床につかない程度に片足を上げます。
左右1分間ずつ、1日3回行いましょう。



スクワット

安全のために、イスやソファの前で行います。深呼吸をするペースで5、6回繰り返し、1日3回行いましょう。
ひざは、あまり曲げすぎないように注意しましょう(90度を超えない)。



イラスト出典：日本整形外科学会「ロコモパンフレット2010年度版」
その他詳しくは、日本整形外科学会のホームページをご覧ください。
(<http://www.joa.or.jp/jp/index.html>)

京都府の
ひろば

Since 2008.09

京都府で取り組んでいる市民生活にかかわる事業などについて紹介しています。

新しいビジネス創造を支援します。

農商工連携商品やサービスなどの開発を促進

■京丹後市内では10件を採択
きょうと農商工連携応援ファンド支援事業は、この4月で5年目を迎え、これまで京都府内で46件の事業を採択しました。そのうち、京丹後市内では、10件の取り組みを採択しています。
本事業では、農林水産物などに付加価値を付けることで地域の特産品となり、地域経済の活性化に繋がることを期待しています。
丹後広域振興局では、農商工連携の取り組みを多くの皆さんに知っていただくため、あじわいの郷月例祭やマルシェでの広報活動や、商品開発に興味を持たれた方への説明会、相談会を開催しています。
皆さんも、身近な農作物などに注目してみてはいかがでしょうか。その気づきが新たな農商工連携商品の開発に繋がるかもしれませんよ。

農商工連携の事例紹介

24年度、「きょうと農商工連携応援ファンド支援事業」で採択され、市内で取り組まれている2件の事例(商品)について紹介します。



京丹後茶葉を使用した和菓子開発

ガラシャの涙

〈連携体〉福喜農園ーポラリス

「バイ貝」を使用した漁師メシの商品化

バイ貝ご飯の素

〈連携体〉天の酒喰ー佐々木茂(漁業者)



きょうと農商工連携応援ファンド支援事業

募集期間 3月18日(月)～4月26日(金)
対象事業者 農林漁業者と中小企業者の連携体
対象事業 連携体の参加者がそれぞれの強みを活かした新商品やサービスの開発・販売などに係る事業(例：規格外品の農作物を使用した加工食品の開発など)
助成率 事業に必要な経費の2/3以内
助成額 1連携体当たり300万円以内
審査・採択 審査委員会が書面と面接による審査を行い、助成額を決定
問い合わせ 公益財団法人京都産業21連携推進部(電話 075-315-8677)
農業ビジネスセンター京都(電話 075-417-6888)
京都府丹後広域振興局農林商工部企画調整室(電話 0772-62-4315)

きょうと農商工

検索



京都府では、丹後あじわいの郷を核として、丹後の良質な「食」を広く発信しています



▲救急現場から病院に連絡する救急救命士

急病の出動が大多数

救急出動件数は2,536件で、前年に比べ55件減少しましたが、過去最多を記録した前年に次ぐ、過去2番目に多い出動件数となりました。

事故種別ごとにとみると、「急病」が1,528件（全出動件数の62%）と最も多く、次に「一般負傷」の369件（同14%）、「交通事故」252件（同10%）となっており、この3つの事故種別で全出動件数の86%を占めています。

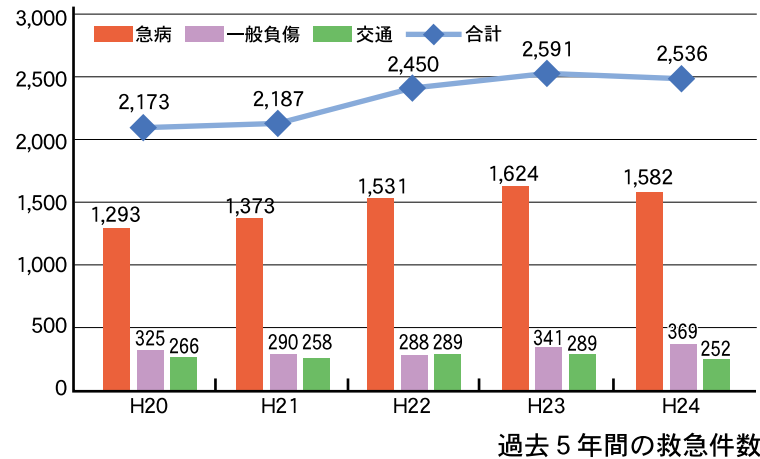
搬送人員は2,372人で、このうち1,012人（42%）が、入院を必要としない軽症者でした。これは全国平均の50%を下回る数値です。

緊急を要する方のために、今後も引き続き救急車の適正利用をお願いします。

前年比55件減

救急

2,536件



ドクターヘリも活用して

ドクターヘリの、平成24年中の要請件数は67件で、搬送人員は50人でした。

ドクターヘリは、公立豊岡病院を基地病院として平成22年4月に運航を開始。京丹後市の総要請数は、これまでで約200件となっています。

今後もドクターヘリを有効活用し、救命率の向上や後遺症の軽減のため、全力で取り組んでいきます。

問い合わせは62-0119番へ

119番受信件数は3,540件でした。このうち、携帯電話からの受信件数が、全受信件数の24%を占めました。

問い合わせ、いたずらなどの「目的外」の受信が825件（全受信件数の23%）でした。119番は緊急通報専用の電話番号です。本当に命にかかわる通報が受信できないこともありますので、問い合わせなどは、「62-0119番」へおかけください。

2割強が目的外

通信

2,536件



▲保育園児の消防署見学を受け入れ

火災による死者

「逃げ遅れ」が最多

近年の住宅火災による死者の発生状況を経過別に見ると、「逃げ遅れ」が最も多く、全体の約6割を占めています。

また、死者の発生状況を時間帯別に見ると、火災件数は起床時間帯が多い一方で、火災死者数は就寝時間帯に多く発生しています。つまり、就寝時間帯が、昼間に比べて人命の危険性が高いと言えます。

火災警報器は“寝室”に設置を

このため、住宅用火災警報器の設置場所は、必要最小限で高い効果が得られる「寝室」に設置することとされています。また、寝室が2階以上にある場合は、「階段室」にも設置することになっています。これは、火災の煙が階段室に集まりやすいこと、寝室が2階以上にある住宅のほとんどは、階段が唯一の避難経路になるからです。

なお、京丹後市火災予防条例では、「台所」にも住宅用火災警報器の設置を義務付けています。正しく設置して、自分たちの「大切な命」を火災から守りましょう。

統計で見る京丹後の実態

平成24年中の市内の火災発生状況や救急救助活動など、消防・防災に関する各種の統計調査結果をお知らせします。



消防長 吉田 けんさく 件昨

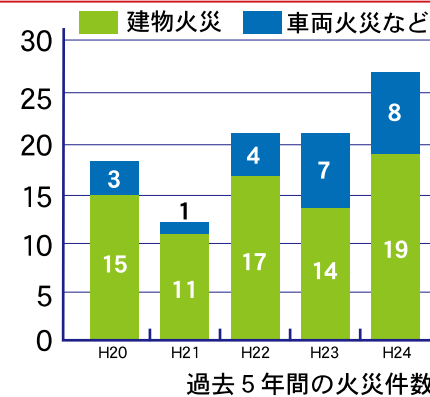
東日本大震災を教訓に地域防災強化

昨年は、全国各地で東日本大震災の教訓を受け、地域防災の強化を目指した1年となりました。

京丹後市では、残念ながら火災によって3人の方が亡くなられ、また、府内でも祇園や亀岡で多数の傷病者が発生する交通事故が起きました。

災害はいつどこでどのように発生するか分かりません。多様化する災害に対応し、市民の皆さんが安心して暮らせる「まち」を目指して、職員一同全力で取り組んでいきます。

火災で死者3人、負傷者6人



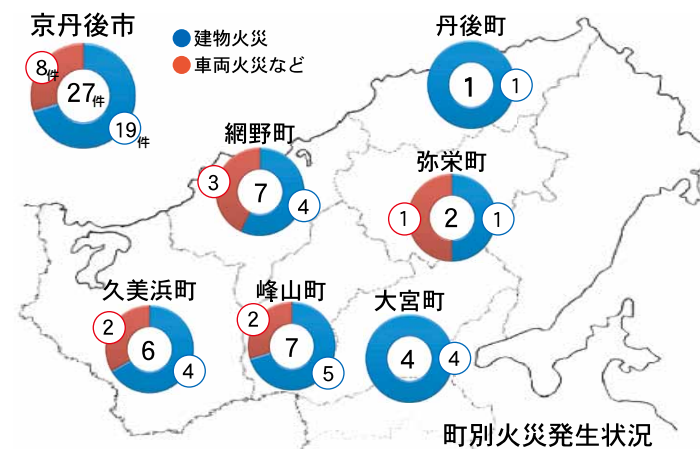
平成24年中の火災件数は27件で、前年に比べ6件増加し、過去5年間で最多となりました。

火災種別で見ると、建物火災が19件（全火災の70%）、車両火災が5件（同18%）、林野火災が2件（同7%）、その他火災が1件（同3%）でした。

過去5年で最多発生

火災

27件



火災による死者は3人で、2月に発生した建物火災によるものでした。また、負傷者は6人でした。

不注意による火災多数

主な火災原因として、天ぷら鍋に火をかけたまま放置した例や、石油ストーブの給油の際に灯油が漏れ出した例など、不注意によるものが多数ありました。

火気の取り扱いに注意することはもちろん、住宅用火災警報器を正しく設置し、もしものときに備えて作動点検も行いましょう。

交通事故、水難事故がほとんど

救助出動件数は38件、救助人員は24人で、ともに前年比8件（人）減となりました。

事故種別ごとの主な出動件数は、「交通事故」が22件（全出動件数の57%）、次いで「水難事故」が7件（同18%）となっています。また、救助の要請は、祝休日が多く（18件）、全出動件数の47%を占めています。

休日に海水浴などに出かける際は、交通事故に注意するとともに、波が高いときは絶対に海に入らない、小さな子供から目を離さないなど、事故を未然に防ぎましょう。



▲署内火災防御訓練の様子

救助

約5割が祝休日の出動

38件

平成 24 年度近畿スポーツ
推進委員協議会功労者表彰



【市スポーツ推進委員】

平成 5 年から 20 年間にわたり、体育指導委員およびスポーツ推進委員として、地域住民に対してスポーツの普及活動などに取り組む。社会体育の振興、生涯スポーツ社会の実現に向けて尽力。その功績が評価されました。

第 18 回全国青年・女性漁業者交流大会
地域活性化部門 水産庁長官賞



京都府漁業協同組合 網野支所 遊浦地区

漁師の厳しさや楽しさを体験する「1 日漁師体験事業」を企画。漁業者や地元区、一般市民と連携して取り組み、事業で得た利益を地域に還元する仕組みなど、新たな沿岸利用策の先進例として、その活動が評価されました。

丹後産コシヒカリ
良食味米共励会 表彰

コシヒカリの良食味栽培および安全・安心な米作りに取り組んでいる生産農家などを表彰。

- 京都府知事賞 岡田 信作 さん (大宮町久住)
- 京丹後市長賞 岸本 昭彦 さん (網野町切畑)
- 農事組合法人 田吾作 さん (久美浜町布袋野)



丹後産コシヒカリ
イメージキャラクター
「こしたん」

京丹後に想う Vol.6



苑 林 さん (31)
峰山町安在住

私の故郷は中国の大連。浪漫の都と呼ばれ「活力」と「美しさ」が溢れる都市です。八年前、仕事で京丹後に来ました。こちらに向かう際、飛行機からきれいな夜景を眺めながら、いろんな想像をしました。京丹後に近づくにつれて灯りが減り、ついに福知山から道の両側が真っ暗に…。

翌朝、カラスの鳴き声で目覚め、カーテンを開けると、目の前は山！驚きの新生活がスタート。ごみの分別は、大学入試より難しく、毎日出しているタメなの？水道水は飲めるの？バスの乗客が少なく、電車は一車両？冬場は、道路から水が湧き出るなど、嘘のような現実の連続でした。

一番困ったのは言葉。片言しか喋れなかった当時、お昼は何を食べた？と聞かれても、鶏としか答えられず、仕方なく両手を広げ、翼をカッターするような動きをして、やっと手羽先だと分かってももらえませんでした。最初の日本語の先生は「クレヨンしんちゃん」。とにかく生活に必要な言葉を知らうと、何度も観たせいか「苑さんの言葉は変」といわれます…。

会社では、先輩たちが暮らしの情報や正しい日本語を教えてくださいました。近所の方も親切で、おかずや野菜を分けてくれます。

在住外国籍市民の皆さんから投稿いただいた
京丹後市への想いをシリーズでお届けします。

皆さんに支えられ仕事も楽しく、充実した毎日を送っています。
おいしい物もたくさんあります。カニ、お米、野菜、魚介類、果物など。大好物は、山の柿、焼き牡蠣、野菜鍋です。きれいなスポットも多く、琴引浜の鳴き砂や屏風岩の幻の滝など、中国の親戚や友達が来たらぜひ連れて行きたいです。自然に恵まれた京丹後は、まさに第二の故郷です。
私も何かのあたりに役に立てればと考えています。例えば、中国語勉強交流会や外国人ガイド育成講座などで、中国の文化を紹介したり、中国から観光に来てもらえるよう、京丹後の素晴らしさをPRするなど、両国の架け橋になりたいと思っています。
最近子どもをこちらに連れてきました。家族三人一緒に頑張つて、引き続き京丹後の生活を満喫したいです！



魚釣りを楽しむ苑さん (伊根町にて)

みんなの 声

広報クイズの応募はがきから

▼表紙の「ぎものある風景」が楽しみです。裏表紙の「人口・世帯数」が合併当時から毎月減少していくのが気になります。

【久美浜町・70代・男性】

▼再生可能エネルギーは、今後必要かと考えますが、導入費用の関係上、検討を要します。

また農業経営をしています。機械などに多くの費用が掛かり、大変苦慮しています。助成金をお願いします。TPPの今後の動向、農業者への影響について教えてください。

【網野町・60代・女性】

▼市内各地のイベントなどが知れ、より愛着が持てる文面(記事)です。「図書館だより」で紹介されている本を読むのが楽しみです。

【弥栄町・40代・女性】

▼健康だよりのコーナーを読んで、食事はバランス良くすることが大切だと。野菜、乳製品は不足しやすいとありましたが、我が家は、みんな野菜が大好きで、牛乳も毎

日飲んでいます。

【大宮町・40代・女性】

▼「まちのわだい」と「健康だより」が身近に感じてとても好きです。

まだ知られていない名所や観光スポットがあるように思います。野間の清流渓谷はお薦めスポットですが、地区の方による「今が見どころ」「何月のお薦め」として、名所などを連載で紹介を！

【峰山町・60代・男性】

▼「振り込め詐欺」急増！のコーナーを拝見しましたが、まだまだ減少しておらず、対象が高齢者であるとのこと。もう少し大きく具体的に事例などを交え理解しやすい特集をしてはいかがでしょうか。

【峰山町・50代・女性】

▼数々の事を経験して知識の豊富な方、人の力になりたいの思いの決心、すばらしく良き人生を歩まれる事と思います。

【久美浜町・70代・男性】

▼「視界遼考」の新コーナーに期待

ご意見箱から



ごみ処理場の熱はどのように利用していますか

現在ある施設で、ごみの焼却設備の熱は、どのように活用されているのでしょうか。

2013年1月1日の京都新聞では、南部クリーンセンターのごみ発電のことが書かれていますが、京丹後市はどう考えていますか。

【住所・年齢・性別未記入】



発電は行っていないですが、場内温水に利用しています

本市では、平成14年4月から稼働している「京丹後市峰山クリーンセンター」でごみの焼却を行っています。

建設当時に熱利用(発電など)

しています。時々、神明山古墳の頂上から立岩方面を見下ろし、古代丹後に思いをはせています。次号が楽しみです。

【丹後町・60代・女性】

【秘書広報広聴課】

▼丹後、奥丹後といわれる言葉に些か抵抗がありましたが、最近では、丹後産コシヒカリ2年連続「特A」と「丹後王国食グルメ」など、食以外では丹後織物ブランドと誇れる丹後ですね。タウントップピックスなどの記事が好きです。広報を楽しみにしています。

【峰山町・70代・女性】

について検討したところ、通常発電を行う場合は、南部クリーンセンターなどのように「1日のごみ焼却能力が約200トン以上必要」とのことでした。

峰山クリーンセンターは、市内から発生する「可燃ごみ」が対象で、日処理量「66トン」の焼却能力です。施設内で使用する電力量も賄うこともできません。

しかし、同センターでは、熱利用として作業員が汚れを落とす際などに利用する温水をつくっています。

【市民部市民課】





私たちのところに生まれてきてくれて、本当に
本当にありがとう。
これからいっぱい遊ぼうね。

松村 美波ちゃん(女の子)
2月生まれ・2,858g

母: 和美さん 父: 直明さん

(神戸市長田区/実家: 大宮町河辺)



長がたけど やつと 会えたね。
産まれてきてくれてありがとう
お兄ちゃんといっしょに遊ぼうね。

浅田 海生ちゃん(男の子)
1月生まれ・4,228g

母: 美恵さん 父: 高史さん
(網野町浜詰)

このコーナーでは、弥栄病院で赤ちゃん誕生の瞬間を喜びご家族の姿を紹介
します。ご応募いただいたすべてのか
たを掲載しています。どしどしご応募
ください。詳しくは秘書広報広聴課「生
命の絆」係まで 電話 69・0110

生まれてきてくれてありがとう



生まれてきてくれて ありがとう。
初めての事ばかりだけど
一緒に成長していこうね。

馬場 琴花ちゃん(女の子)
2月生まれ・3,400g

母: 奈津さん 父: 隆太さん
(峰山町長岡)



**振り込め詐欺に
だまされないで!**

高齢者などを狙い、市役所など公的機関の職員を名乗って、現金を振り込ませようとする「振り込め詐欺」による被害や、振り込め詐欺目的と思われる不審な電話が多発しています。被害に遭わないために、少しでも「おかしい」と感じたら、一人で判断せずに、警察や家族、周囲の人に相談してください。

防犯対策

- ◎不審電話はいったん切り、一人で判断せず警察や家族に相談
- ◎在宅中も留守番電話にすることが効果的
- ◎ご近所や高齢の方に、被害防止の呼び掛けをお願いします

【市民協働課 ☎69・0240】



▲激しく打ち合う少年剣士たち(団体戦決勝・大将戦)

少年剣士が熱戦

3月17日

京丹後市剣道連盟が主催する第8回京丹後市少年剣道大会が3月17日、市大宮社会体育館で開かれました。

本市のほか、綾部市、福知山市、豊岡市(兵庫県)などの小学生剣士164人が出場。24チームが戦う団体戦(11杉本杯)と、市内の剣士が各部分かれて戦う個人戦が行われ、子どもたちは熱戦を繰り広げていました。

大会結果は次のとおり。

大会結果

団体戦(杉本杯)

優勝 橋至誠館 A
準優勝 大宮真武館 A
3位 網野少年剣道教室 A



▲団体戦で優勝し、賞状を受け取る橋至誠館の東主将

個人戦《各部優勝者》※敬称略

小学1年生以下の部
吉野風紗(橋至誠館)
小学2・3年生の部
新治星哉(大宮真武館)
小学4年生の部
松坂将吾(網野少年剣道教室)
小学5年生の部
井本匡哉(橋至誠館)
小学6年生の部
森津光(橋至誠館)
小学5・6年生女子の部
小松あすか(橋至誠館)
中学1年生男子の部
坪倉巨佑(大宮真武館)
中学2年生男子の部
東剛志(橋至誠館)
中学3年生男子の部
日下部航平(網野少年剣道教室)
中学生女子の部
奥田莉央(橋至誠館)



▶音楽に合わせて踊るように体操する生徒

網高体操 30周年

「いくつになっても踊れる」

「網高体操」は、府立網野高等学校で行われている独特の体操。1980年代の洋楽ポップスの軽快な音楽に合わせて、ジャンプ、対側屈、伸脚など15種類の運動を踊りながら行います。

塩見正典教諭(現府立海洋高等学校長)が中心となって創作したもので、今年が30周年。同校では、各学年1学期の必修課題にするともに、体育の準備運動としても実施しています。

同校卒業生の岩浪恵美子さん(45)は「卒業して30年近く経ちますが、曲が鳴ると体が勝手に動き出します。いくつになっても踊れそう」と話していました。

近畿スポーツ推進委員 研究協議会開催

近畿各府県のスポーツ推進委員が一堂に会し、スポーツ振興などについて研究する「近畿スポーツ推進委員研究協議会」(全国スポーツ推進委員連合などが主催)が3月1、2日の両日、丹後文化会館(峰山町)などで開かれ、約900人が参加しました。

各府県の代表者がスポーツ振興に関する事例発表や紙上発表を行ったほか、理論研修や実技研修も行いました。

実技研修では、フィットネスインストラクターの向井利子さん(網野町)が、通常のウォーキングに早歩きを加える「インターバル・ウォーキング」を紹介。参加者らは、峰山総合公園で同ウォーキングを実践しました。

事例発表や実技研修も





山陰海岸ジオパーク

世界ジオパーク認定は国内5カ所 ジオパークごとに特徴

現在、日本国内には25のジオパークがありますが、そのうち世界ジオパークに加盟しているのは山陰海岸のほか、北海道の洞爺湖有珠山、新潟県の糸魚川、長崎県の島原半島、高知県の室戸の4つです。

今回は、これらのジオパーク



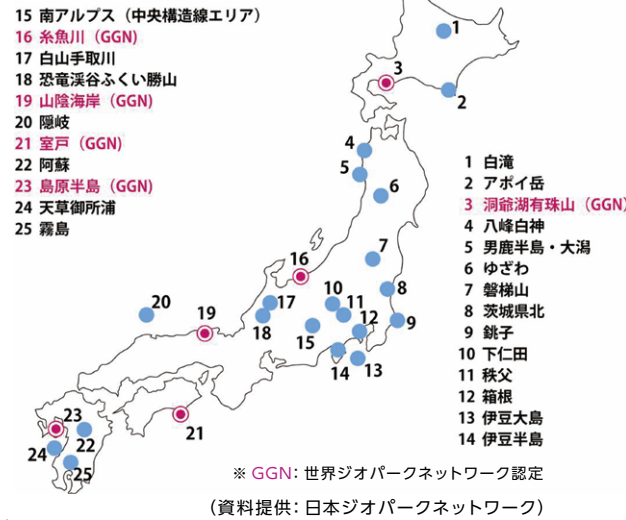
室戸岬の岩石海岸(室戸ジオパーク)

の特徴を3つに整理して紹介します。

山陰海岸と糸魚川は、ともに日本海と日本列島の形成をテーマとしたジオパークで、地域内では世界的にも有名な地質学の研究が進められてきました。

洞爺湖有珠山と、島原半島(雲仙普賢岳)はともに活火山として有名で、火山噴火や火砕流による災害を経験しているジオパークです。この災害からの復旧や防災活動も、ジオパークのテーマのひとつとなっています。

日本ジオパーク



高知県の室戸は、プレートテクトニクス理論を証明した「付加体」について研究された地域です。また、地震災害と段丘の研究でも有名です。

丹哥府志の原本

「丹哥府志」は、丹後各地の名勝などを挿し絵入りで紹介した地誌で、江戸時代の後期に編さんされたものです。全九巻で構成されており、当時の様子を知る貴重な資料となっています。

この本を編さんしたのは、宮津藩の儒学者だった小林玄章という人物です。

玄章は、丹哥府志を編さんする前に、宮津藩主の名を受け、「丹後州宮津府志」を編さん。同書が宮津藩内の歴史や名勝を紹介するにとどまるものであったため、丹後各地の名勝を紹介する丹哥府

江戸時代の貴重な地誌

現在、丹哥府志は、巻五「竹野郡」のみ原本が残っており、昭和一七(一九四二)年、宮津の沢村秀夫が「郷土と美術」という雑誌で「丹哥府志の原本」を紹介しています。

丹哥府志の原本は、江戸時代に編さんされた丹後地域の地誌の原本であるという希少価値から、昭和五一年三月一日付で網野町指定文化財(書跡)に指定され、平成一六年の京丹後市発足にあわせ京丹後市指定文化財となっています。(文化財保護課)

貴重な地誌「丹哥府志」

Pick-up

国際的な見本市に市内2社が出展

藤布の遊絲舎、螺鈿織りの民谷螺鈿



見本市に出展した遊絲舎代表の小石原将夫さん(中央)、副代表の充保さん(左)と、民谷螺鈿代表の民谷共路さん

2月12日から14日までフランス・パリで開催された、世界最大の国際的な繊維と服地の見本市「ブルミエール・ビジョン」の特設ブースに、市内企業の遊絲舎と民谷螺鈿が招待を受け、出展しました。高度な匠の技を持つ企業だけが選ばれ、世界から16社、日本から5社が出展したものです。

特設ブースには、大手ブランドデザイナーなど特別招待者が来場。創造性と希少価値のある作品を鑑賞するとともに、商談が行われました。

遊絲舎(網野町)

藤のつるで作った藤糸を使い、織物と融合した作品を手掛ける。代表は小石原将夫さん、副代表は小石原充保さん。

民谷螺鈿(丹後町)

貝殻を使った細工(螺鈿)を手掛ける。貝殻を織り込んだ帯などを制作している。代表は民谷共路さん。

一日女性消防官に橋本エリナさん

火災予防の啓発活動行う

ベトナム出身で久美浜町在住の橋本エリナさん(22)が3月1日、市消防本部から「一日女性消防官」を委嘱され、火災予防の啓発活動などを行いました。

橋本さんは、街頭で防火ちらしの配布や起震車体験に加えて、こうりゅう保育所(久美浜町)での防火教室などに参加。消防士たちと一緒に、火災避難時のポイントなどを話しました。

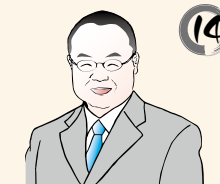
橋本さんは「私たちに安心を与えてくれる消防士の方たちに、改めて感謝したいです。これからも、火災には十分注意していきたいです」と話していました。



一日女性消防官を務めた橋本エリナさん(前列右から3人目)

市長エッセイ

和気泰来



去る3月10日、岩手県陸前高田市で「東日本大震災追悼式」が開催され、併せて全国の自治体や民間事業者、法人などの皆さんで構成する「復幸支援会議」が開かれ、同会議の呼び掛け人の一人として、共に参加をさせていだきました。また、追悼式に先立ち、網野ライオンズクラブの小森会長はじめ4人の代表の皆さんに

陸前高田市を訪問して「忘れないで」

住居、仕事、生活、交通など大変な多くの困難に直面されておられる状態で、復興はまだまだ、まだまだこれから、ということを改めて実感しました。

全国青年市長会では一昨年の8月から「復幸応援センター」を開所し、会員各市が交代で職員を派遣し、物産販売支援、各種交流・支援事業など、陸前高田市民の皆さんに全国各地の市民や民間の皆さんの支援や交流の力をつなげていただく活動をしており、

よる植樹のための義援金20万円の戸羽・陸前高田市長へのご寄贈式にも陪席をさせていただきました。

被災から2年が経過するわけですが、被災地の状況はいわゆる「がれき」(思い出が詰まったものばかりで、本来、瓦礫とは到底呼べません)の撤去はおおむねできつつある状況でしたが、新建屋建築まではほとんど手付かずの状況で、住民の皆さんのご状況も

本市からもこれまで2人の職員を派遣していますが、大切なのは、こういった活動の「継続」だと感じました。

戸羽市長が追悼式のご式辞の中で「最後は、心の復興が大切である」の旨お話しされましたが、私たちにできるささやかなことは、1年や2年の短期ではなく、住民の皆さんと真摯真剣に向き合うご支援の中で、ともに悲しみ、ともに悩み、ともに喜び、ともに笑う、そんな日常

を5年、10年と重ねて、家族や兄弟のように少しなりとも感じていただけるようになることで、お心の復興の一助につながるのだと感じています。被災地の住民の皆さんが口々に言われるお言葉が強く印象に残っています。「これから辛いのは、忘れられること。被災地、被災者のことを忘れないでほしい」。

陸前高田市のみなさん、東日本各地の被災地、被災者の皆さんの一日もすみやかな復興・復幸に向け、引き続き少しでもお心に届く息の永いご支援に市民の皆さんとともに尽くしていきたいと願っています。

京丹後市長 中山 泰



野球に対する思いを語る稲葉悦男さん（自宅にて）

kyotangojin

京丹後の野球界を牽引する

稲葉 悦男^{い ば え っ お}さん (74)
峰山町^{お たび}御旅

京丹後人

36

自他ともに認める

根っからの野球人

プレーヤー、監督、そしてリーダーとして、京丹後の野球界を牽引してきた稲葉悦男さん（74）。今年2月、長年の功績が評価され、新聞社主催の「軟式野球スポーツニッポン賞」を受賞。人生の大半を野球に注ぎ、今もなお活躍を続ける稲葉さんの足跡をたどった。

◆ ◆ ◆
小学4年の頃、野球と出会った。戦後間もない時代。麻袋を縫い合わせて作ったグローブ、竹を切っただけのバットを使い、近所の仲間と寺の境内で毎日夕暮れまでボールを追いつめた。「とにかく野球が好きでたまらなかった」と当時を振り返る。

高校卒業後、地元の金融機関に就職し、迷わず社内チームに所属。選手、監督として野球に打ち込んだ。「やるからには強くなりたいと、ほぼ毎週土日は練習や試合に明け暮れました」と話す稲葉さん。

さらに、野球の知識を深め、レベルアップを図るため、審判員の資格を取得。母校の峰山高で試合があるときは、審判を買って出た。自身もかつて夢見たように、甲子園を目指す後輩を応援したいという思いからだ。

32歳のとき、京都府軟式野球連盟丹後支部の事務局を任された。裏方

として10年間、支部長など役員として30年間支部の活動を支え、京丹後の野球界を牽引してきた。この間、支部の組織・運営体制の充実、上部大会に向けた予選会の実施など、野球レベルの向上にも貢献。「一番の喜びは、京丹後の社会人チームが京都市内の強豪を破り、全国大会に出場したこと」と笑顔で話す。

平成16年の京丹後市の誕生に伴い、市野球協会を設立し、初代会長に就任した。市民野球大会や野球教室の開催、丹後総体やプロ野球ウエスタンリーグ公式戦の運営を手掛けてきた。さらに3年前からは、子どものケガを予防し、1日でも長く好きな野球を続けてほしいと、いち早く肩や肘の検診とコンディショニング指導を練習に取り入れるなど、球児の将来と野球界の発展を見据えた活動を続けている。

悩みは、少子化や他のスポーツの台頭などによる野球離れ。「ひと昔前は、家族揃って茶の間でプロ野球を観戦したり、親子でキャッチボールをしたりするのが当たり前だったんだけど」と嘆く。

結婚の際、野球を取り上げないでと奥さんに言ったほど野球好きの稲葉さん。長年にわたる功績が評価され、多数の団体から表彰を受けている。つい先日、栄えある「平成24年度軟式野球スポーツニッポン賞」を丹後で初めて受賞した。

「京丹後の野球の発展に欠かせない存在」と周囲の期待も膨らむ。落ち着いてテレビの前で野球観戦を楽しむ日はまだ先のようだ。

つぶやき

▼ようやく春の陽気となってきましたね。日々、眼のかゆみと格闘していますが、皆さん花粉症などの対策はOKですか？▼旅立ちや出会いを迎えるこの時期、多くの方が新たな決意の下で第一歩を踏み出されることでしょう▼今号は、節目行事のひとつ、成人式を取材。羽織袴や振袖、スーツ姿で旧友との再会を喜ぶ新成人を見て、つい多めにシャッターを切ってしまいました！▼後で知りましたが、「振袖」には、人生を左右する「振り」があるそうですね。昔の男性は、告白した女性の意思表示となる振袖の動きに、一喜一憂したとか▼人生の節目の催事には先人の思い、発祥時からの歴史が詰まっています。それを理解することで、より深い取材ができると思います。もっと勉強をなくては（汗）／樹

人口・世帯数

男	28,856人（-22）
女	31,043人（-34）
計	59,899人（-56）
世帯数	22,516世帯(+11)
3月1日現在、カッコ内は前月比。	
住民基本台帳(外国人含む)による。	

「思いやる 心で走ろう 京の春」4月6日～15日は、春の全国交通安全運動週間です。

交通ルールやマナーを守り、事故防止に努めましょう！！

